



医療連携ニュース

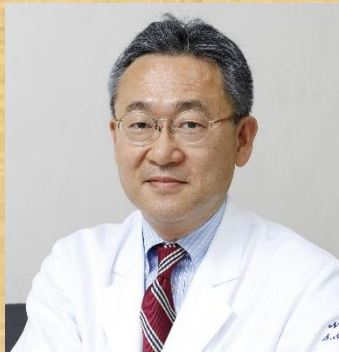


2024年4月号

発行 東海大学医学部附属八王子病院 患者支援センター、医療連携室 TEL. 042(639)1114, FAX 042(639)1115

春陽の候、貴施設におかれましては益々ご繁栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当院の運営にご理解とご助力を賜り、また、多数の患者さんをご紹介いただき、厚く御礼申し上げます。
このたび、東海大学医学部附属八王子病院医療連携ニュース2024年4月号を発行いたしました。
先生方が、ますます当院との医療連携を深めていただき、一助となれば幸いです。
患者支援センター所長 小田 真理、医療連携室長 角田 隆俊

病院長就任のご挨拶



病院長・脳神経内科教授
野川 茂

2024年4月1日より、病院長を拝命致しました。

当院は2018年に南多摩医療圏における3つ目の「地域医療支援病院」に承認され、2024年度から「紹介受診重点医療機関」に認定されました。この新しい制度は、まず患者さんが「かかりつけ医」の先生方を受診し、必要に応じて当院をご紹介いただくもので、外来機能の明確化・連携の強化を図ると共に、患者さんの流れの円滑化を目指す制度です。

当院は2017年より「がん診療連携拠点病院」に指定されていますが、特に、内視鏡・腹腔鏡・胸腔鏡を用いた低侵襲手術や強度変調放射線治療(IMRT)を含む高精度低侵襲放射線治療に力を入れています。更に「がん相談支援センター」では様々ながん種に対する「がんサロン」を開催し、患者同士のピア・サポートも積極的に推進しています。

一方、2019年から「脳卒中・循環器病対策基本法」が施行されていますが、当院では心房細動に対するアブレーションや心臓病リハも積極的に行っています。また、「PSC(一次脳卒中センター)コア」に認定され、24時間体制で血栓溶解療法および機械的血栓除去療法を行っています。2023年からは「脳卒中相談窓口」を設置し、多職種による患者支援を行っています。

更に、当院は災害拠点病院、南多摩医療圏唯一の東京都難病協力病院でもあり、高度急性期病床を有するのみならず、地域にとって真に役に立つ病院を目指しております。

今後とも皆様の暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



看護部長のご挨拶

看護部長
大村 里枝



皆さまには日頃より当院の活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

日常生活は平時に戻ってまいりました。しかしながら、医療機関ではクラスター対応や職員の罹患による人員調整等、感染症対策が必要な状況が続いております。引き続き八王子市や地域の医療施設の皆さまと連携し、役割を推進したいと考えております。

看護部は「愛の看護」を理念に、4つのナーシングスピリッツHACIを大切にしています。看護の対象者が、安心安楽に過ごせるよう(Heart)、確かな技術と知識で安全な看護を(Art)、思いやりの心で(Consideration)、対象者の自己決定支援(Identity)に繋がる愛の看護(HACI)を推進しています。また、看護部には専門看護2分野2名、認定看護13分野24名、特定行為研修終了者6名(クリティカルケア関連、創傷管理関連、血糖コントロール関連)のリソースナースがおります。地域の病院や介護福祉施設等からの相談を受け、必要に応じて地域へ出向いてより深く連携してまいります。どうぞご活用ください。

2024年度も地域で働く看護職の方へオープンセミナーを開催いたします。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。大学病院ならではの取り組みを、地域の医療施設の皆さまと共有し、地域医療に貢献できる看護部でありたいと考えております。

引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



医療連携室長のご挨拶

医療連携室長・腎内分泌代謝内科教授
角田 隆俊

平素は当院との医療連携にご協力いただき誠に有り難うございます。医療連携室は総合相談室、入退院センターと力を合わせて、滞りのない医療連携と患者負担の少ない医療体制の維持に取り組んでおります。その一環としてHachioji Medical Conferenceを開催しております。2023年度は、2024年2月21日にCOVID19の蔓延以降始めて医師会の先生方と直接お目にかかったの開催が実現できました。

「肺がん手術の最前線」 演者: 中川 知己 先生 呼吸器外科 臨床教授

「日常診療における高血圧の管理と治療」 演者: 吉町 文暢 先生 循環器内科 臨床教授

上記内容でお二方に熱のこもった講演をして頂き、ご参加頂いた諸先生方に満足頂けた事を願っております。閉会の辞では鳥羽正浩会長から顔の見える関係の良さを含めてお話しいただきました。今回は33名の先生方にご参加頂き、講演会後には懇親会を設け丁寧なご指導を賜りましたこと職員一同感謝申し上げます。

医療連携に関してご要望があればお申し付けください。また、南多摩医療圏唯一の「東京都難病医療協力病院」としても多摩総合医療センターとの連携も強めて皆様のお役に立ちたいと考えます。2024年度もどうぞよろしくお願い致します。

患者支援センター所長のご挨拶



患者支援センター所長・脳神経外科教授 小田 真理

平素より各関係医療機関の先生方には、当患者支援センターの円滑な運営にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

当センターは地域の医療機関・施設からの紹介患者さんの受診から入院、退院後の生活まで安心した療養が受けられるように医師・看護師・MSW・管理栄養士・薬剤師等と事務職員が協働して、紹介患者様にとって最適の医療を全力でサポートさせていただきます。本年度も当院と地域を繋ぐ窓口として、入退院センター(泌尿器科教授 座光寺センター長)、医療連携室(腎内分泌代謝内科教授 角田室長)、総合相談室(皮膚科教授 松山室長)の3つの部署で協力し、皆様方との医療連携を図って参ります。

新型コロナウイルスが5類に移行し、地域医療機関の方々との顔の見える関係作り・連携強化のため出来る限り対面開催を考えておりました医療連携の会及び歯科口腔外科病診連携の会を4年ぶりに行うことができました。多くの医師会関係者や地域医療機関の皆様にご参加いただき、当院各診療科の取り組みについて紹介をさせて頂き、懇親会では地域医療機関の皆様と当院の医師や看護師などが対面で活発な意見交換も行うことができました。更に各関連医療機関の先生方との知識の共有及び親睦を深めるための「Hachioji Medical Conference」も対面で開催し、今年度も継続して開催できるように努めてまいります。尚、医療連携室が中心に行っている当院の診療に関する広報誌「医療連携ニュース」の発行(年4回発行)は継続してまいります。

最後に、上記3部署の多職種医療チームで協力して、効率的な地域医療連携を推進し、入院前から退院後の生活を見据えて、患者・家族に対し総合的かつ質の高い支援を行ってゆきたいと考えております。

今後共ご指導・ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

医療連携室からのお知らせ

当院では、午前8時から11時までに来院された初診患者は、予約の有無にかかわらず診療いたします。(一部の診療科を除く)

ご紹介におかれましては、紹介状を作成いただき、当日に持参いただければ幸いです。なお、従来の事前予約による診療も行っております。

診療受付時間: 月曜日～金曜日、第2・4・5土曜日 8:00～11:00

休診日: 日曜日・祝日、第1・3土曜日、12月29日～1月3日

医療機関専用ダイヤル 042-639-1114 平日8:30～16:30、第2,4,5土曜日 8:30～14:30

医療機関専用ファックス 042-639-1115 24時間対応
* 受付時間以降の受信は、翌日対応となります。

一般ダイヤル 042-639-1111(代表) 平日8:30～16:30、第2,4,5土曜日 8:30～14:30